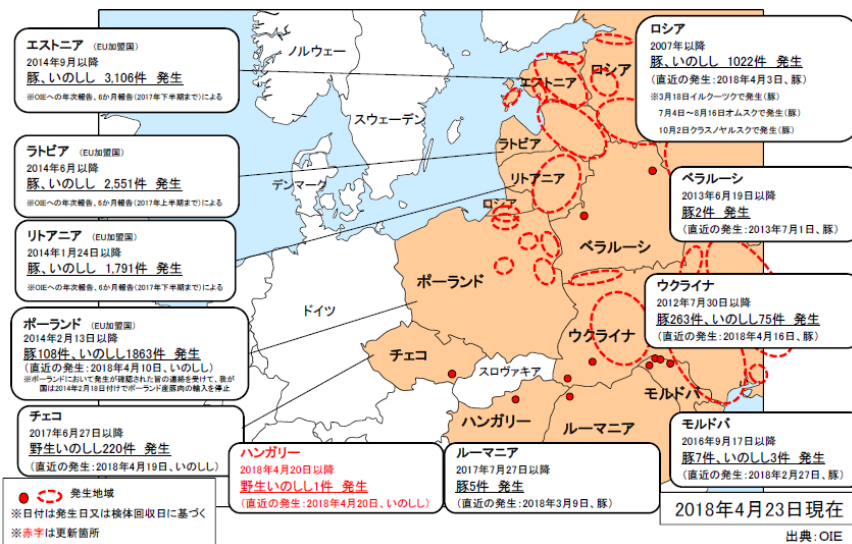


ハンガリーでアフリカ豚コレラの発生を確認！

2007年にロシアでアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。2017年には、ロシアのイルクーツク州やクラスノヤルスク地方のモンゴルとの国境付近で本病の発生が確認されたほか、2018年4月には、ハンガリーの野生いのししで本病の発生が初めて確認されました。日本に本病が侵入するリスクが更に高まっています。

欧州・ロシア等におけるアフリカ豚コレラの発生状況



空港等での水際対策が重要ですが、各農場においても、疾病の侵入防止のため、飼養衛生管理基準に基づく防疫対策の徹底を引き続きお願いします。
加えて、異状がみられた場合には、すぐに家畜保健衛生所までご連絡ください。

最新の情報などは…
農林水産省HPIに掲載されています。
「アフリカ豚コレラについて」で検索

アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679